

フリガナ 氏名	カセン タロウ 河川 太郎
------------	------------------

生年月日(西暦)
1960年 8月 15日

## 記入例 河川維持管理技術者資格試験 業務経歴証明書

河川点検士資格 登録番号
19 - T ○○○○○

### 【記入時注意事項】

- 本資格の受験資格についての業務経歴を記載(受験資格と関係ない業務経歴の記載は不要)。
- 「水系・河川名」には実務経験の対象となった河川名を記載。
- 「役職名」には管理職の場合「(管理職)」を選択。・河川維持管理技術者の指導が有る場合は、「技術者指導」欄に「有」を選択。
- 「従事期間」は古い順番になるように、かつ、期間の重複が無いように記載する。
- 業務経歴における内容、経験年数(指導的立場、技術者指導含む)が受験資格を満たさないと判断される場合には、採点の対象となりませんのでご注意ください。経験年数は資格試験申込みの前月まで含みます(4月申込みの場合、経験年数は3月まで)。

※記載内容に不明な点がある場合は問い合わせることがあります

15日以上を1月とし、記載は年月まで。下段に従事期間を記載する

本手引き3ページ ※3  
の番号を記載する

勤務先 (部・課まで)	役職名 (管理職)	水系・ 河川名	業務内容と立場	従事期間(開始～終了)	指導的 立場 番号	技術者 指導 有無
				西暦年/月 ~ 西暦年/月 期間		
(株)〇〇調査設計	社員	〇〇水系・ 〇〇川	「H24〇〇川巡視業務」(河川巡視と河川管理者に報告が必要な変状の抽出ととりまとめ)における担当技術者	2012/4 ~ 2014/3 2年0ヶ月		
〇〇建設(株) 工務部	技術員	〇〇水系・ 〇〇川	「H26〇〇河川改修工事」(現地の河岸の状態把握に基づく低水護岸の施工管理)における担当技術者	2014/10 ~ 2015/3 0年6ヶ月		
〇〇コンサルタント(株) 設計部	主任	〇〇水系・ 〇〇川	「H27〇〇川災害復旧設計業務」(護岸の損壊状況や河床の洗堀状況等の現地確認と復旧工法案の選定)における担当技術者	2015/10 ~ 2016/3 0年6ヶ月		
〇〇設計(株) 設計部第一設計課	技師	〇〇水系・ 〇〇川	「H28〇〇川護岸設計業務」(河道状況の現地確認及び河岸変状を踏まえた護岸施設の設計)における担当技術者	2016/9 ~ 2017/3 0年7ヶ月		
〇〇測量設計(株) 河川部	主幹	〇〇水系・ 〇〇川	「H29〇〇川堤防横断測量業務」(地上からの横断測量業務)における主任技術者	2017/4 ~ 2018/3 1年0ヶ月	①	
〇〇コンサルタント(株) 技術部 土木課	主任技師	〇〇水系・ 〇〇川	「H31〇〇川被災調査設計業務」(〇〇水害による現地被災状況の確認と災害復旧工法の検討)における管理技術者	2018/6 ~ 2019/3 0年10ヶ月	②	
〇〇建設(株) 工務部	工事課長 (管理職)	〇〇水系・ 〇〇川	「R元〇〇川河川維持工事」(除草工事及び堤防点検、変状のとりまとめ)における監理技術者	2019/4 ~ 2019/9 0年6ヶ月	③	
〇〇コンサルタント(株) 河川部	部長 (管理職)	〇〇水系・ 〇〇川	「R元〇〇川堤防照査業務」(堤防機能への影響要因の現地確認と照査)における管理技術者を指導する統括的立場	2019/10 ~ 2020/3 0年6ヶ月	④	
〇〇河川事務所	副所長 (管理職)	〇〇水系・ 〇〇川	〇〇川の河川管理(調査・工事等を含む)全般に関する統括的立場	2020/4 ~ 2022/3 2年0ヶ月	⑤	
(株)〇〇コンサルタント 水工部	主査	〇〇水系・ 〇〇川	〇〇川管内河川管理施設監理検討業務(河川の状態把握に基づく評価)において担当技術者として河川維持管理技術者指導のもと業務を実施	2022/4 ~ 2024/3 2年0ヶ月		有

勤務先 (部・課まで)	役職名 (管理職)	水系・ 河川名	業務内容と立場	従事期間(開始～終了)	指導的 立場 番号	技術者 指導 有無
				西暦年/月 ~ 西暦年/月 期間		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		
				~		

従事期間(重複期間を除く)の合計
(指導的立場(①~⑥)合計
4年 10ヶ月)  
**従事期間合計 10年5ヶ月**
(河川維持管理技術者の指導「有」合計
2年 0ヶ月)

**【業務経歴の証明】※1**
記入漏れに注意

上記のとおり相違ないことを証明する。 2024 年 4 月 1 日

(証明者)  
 所在地 ○○県○○市○○3-5-12 ○○ビル  
 法人・事務所名 株式会社 ○○コンサルタント ○○支店  
 代表者名 ○○支店長 ○○ ○○

※1 業務経歴の証明者を必ず記載してください。証明者は法人の代表者、所属長等に限り(押印不要)。

**【実務経験の証明(河川維持管理技術者の指導の下)】※2**

上記のとおり相違ないことを証明する。 2024 年 4 月 1 日

(証明者)※3  
 所在地 ○○県○○市○○2-6-5  
 法人・事務所名 ○○コンサルタント株式会社  
 河川維持管理技術者名 ○○ ○○  
 河川維持管理技術者登録番号 15-E○○○○○  
 メールアドレス ○○○@○○○.co.jp

※2 河川維持管理技術者の指導を受けた場合、河川維持管理技術者の証明者を必ず記載してください(押印不要)

※3 指導者が複数名の場合は代表者ひとりの証明でかまいません

## 記入例

フリガナ	カセ ン タロ ウ
氏名	河川 太郎

生年月日(西暦)
1960年 8月 15日

河川点検士資格試験  
業務経歴証明書15日以上を1月とし、記載は年月まで。  
下段に従事期間を記載する

- 本資格の受験資格についての業務経歴を記載(受験資格と関係ない業務経歴の記載は不要)。
- 「河川名」欄は実務経験の対象となった河川名を、「業務内容」欄には当該工事・業務名及びその実務の概要をそれぞれ記載。
- 欄が足りない場合は複数枚に分けて記入してかまいませんが、1つのファイルにして提出してください。

勤務先 (部・課まで)	役職名	水系・河川名	業務内容	従事期間(西暦)
				年・月～年・月
〇〇コンサルタント(株) 水工部	技師	〇〇水系・ 〇〇川	「H30〇〇河川巡視業務」において、河岸の変 状等の確認を行い河川管理者へ報告した。	2018.4～2018.9 年 6 ヶ月
(株)〇〇調査設計	技術員	〇〇水系・ 〇〇川	「H30〇〇樋門周辺状況調査業務」において、 土砂堆積、樹木繁茂状況の調査を行いとりま とめを行った。	2018.10～2019.3 年 6 ヶ月
〇〇測量(株)	主任	〇〇水系・ 〇〇川	「H31〇〇川堤防調査業務」において、堤防基 礎データ整理及び護岸設計の補助を行った。	2019.4～2019.9 年 6 ヶ月
(株)〇〇コンサルタント 設計部	主幹	〇〇水系・ 〇〇川	「H31〇〇ダム関連水文調査業務」において、 ダムの運用に向け水文調査(流量観測等)を 行いダム放流による影響を検討した。	2019.10～2020.3 年 6 ヶ月
〇〇建設(株) 工務部	工事課長	〇〇水系・ 〇〇川	「R2〇〇川河川維持工事」(現地の河岸の状態把 握に基づく低水護岸の施工管理)における担当技 術者として施工管理を行った。	2020.4～2020.9 年 6 ヶ月
〇〇河川事務所 〇〇課	係長	〇〇水系・ 〇〇川	河川監理員として〇〇川上流域の河川管理を 担当した。	2020.10～2024.3 3年 6 ヶ月
				年 月
				年 月
				年 月
				年 月
				年 月

従事期間(重複期間を除く)の合計

従事期間合計 6年 0ヶ月

上記のとおり相違ないことを証明する。

2024年 4月 1日 証明日の記入漏れに注意

(証明者)\*

所在地

〇〇県〇〇市〇〇 2-9-1

法人・事務所名

〇〇河川事務所

代表者名

事務所長 〇〇 〇〇

\* 証明者を必ず記載してください。

証明者は法人の代表者、所属長等に限ります(押印不要)。

\*業務経歴の証明者を必ず記載してください。証明者は法人の代表者、所属長等に限ります(押印不要)。

※ 従事した複数の業務に重複期間がある場合、その期間を重複して計上することは認められませんのでご注意ください。

※ 実務経験における内容、経験年数が受験資格を満たさないと判断される場合には、不合格となりますので  
ご注意ください。経験年数は資格試験申込みの前月まで含みます(4月申込みの場合、経験年数は3月まで)。